

事業所名

とりっくおあとりと府中

## 支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

20

法人（事業所）理念

「一人一人の輝きを未来へ」  
一人ひとりの個性に寄り添い、安心できる環境を提供し、成功体験を積み重ねることで自己肯定感を育み、家族と共に子どもの成長を支えていく！

支援方針

尊重：一人一人の個性を尊重する  
挑戦：「やってみたい！」と思える機会を提供する  
成長：「できた！」を少しずつ増やし、自信に繋げる  
安心：安心して過ごせる環境をつくる

営業時間

9 時 00 分から 18 時 00 分まで

送迎実施の有無

あり なし

## 支援内容

健康・生活

- ・安心して過ごせるよう落ち着いた環境の提供
- ・健康な生活の基本となる姿勢保持等の支援
- ・身の回りを整理整頓をし、水分補給やトイレのタイミング等生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援
- ・日常生活動作を楽しめながらできるよう支援 など

運動・感覚

- ・視覚、聴覚、触覚、前庭覚、固有受容覚の感覚を十分に活用できるよう、プログラムを工夫した支援
- ・バランス遊びや体幹を使う活動による運動機能の向上やストップ動作等の自己調整
- ・感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援
- ・微細運動による指先の感覚や目と手の協応を促す
- ・興味のあることを模索し、楽しく遊べるよう支援 など

認知・行動

- ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援
- ・机上活動（間違い探しや必要なもの探し出す等）ではよく見て考えることを促し認知から行動が出来るよう支援
- ・認知や行動の手掛かりとなる周囲の状況をつかむ支援
- ・模倣構成等の活動を通して数量、形の大きさ、重さ、色の違い等を習得したり、状況や相手に合わせるといった行動が出来るよう支援
- ・物の形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図り、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援 など

言語  
コミュニケーション

- ・言葉を引き出すような遊びを通し、気持ちを代弁したり要求を伝えてもらう支援
- ・遊びを通してコミュニケーションを取り、他者との関りを持てるような支援
- ・話し言葉や指さし、具体物、多様なコミュニケーション手段を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を理解し表出する支援（指示理解の支援）

人間関係  
社会性

- ・活動の順番や回数、時間を一緒に決めてから取り組むことで見通しを持てるよう支援
- ・遊び等を通じて人の動きを模倣するなどにより、社会性や対人関係の芽生えを支援
- ・感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協を通じて、徐々に社会性の発達を支援
- ・自分の好きな事、苦手な事など、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援 など

家族支援

小学校へ移行する前の発達課題等乗り越えるため、困り事に寄り添いながら、事業所での様子を丁寧に伝えたり、ご家庭での様子を伺うなど情報交換し、ご家族の心配ごとへの助言を行うとともに事業所で出来ることを考える。

移行支援

小学校入学や転園等、保護者から求められた場合は、相談支援事業相談しながら、学校や転園先に情報提供をしていく。また、学校や必要と思われる支援をお子様の発達段階や特性を考慮しながら療育プログラムに入れていく。

地域支援・地域連携

保護者のご希望があり、保育園からも許可がある場合は、保育園を訪問したり保育園の様子・事業所の様子を相互に伝え合う。

職員の質の向上

年間計画に基づき各種研修を実施  
新卒研修や中途研修はもちろん、各自様々なテーマについてオンラインにて受講できる体制あり

主な行事等

季節に合わせて療育内で制作を行い、室内に飾る等していく。

